

～下田のデキゴト～



6/1 ～ 30 伊豆下田温泉第 54 回あじさい祭開催

あじさい群生日本一！およそ 300 万輪咲き誇るあじさい園。今回も多くの方々と賑わいました。園内には、群生地までの距離を示す看板や記念写真用にフォトフレームなど様々な装飾がされ、来園者を盛大に出迎えました。



6 / 2 市町駅伝チーム 始動！

12 月 6 日に開催される第 26 回静岡県市町対抗駅伝競走大会の代表候補選手たちが、敷根公園で初練習を行いました。各世代の代表の座をかけ、これから約半年間の厳しい戦いが繰り広げられます。



6/19～20 市内小学校が宿泊体験学習を実施

市内の小学校 5 校（稲梓・稲生沢・白浜・下田・大賀茂）の 5 年生 88 名が、田牛地区にて宿泊体験学習を実施しました。ふるさと下田の自然の魅力を学び、他校の児童との交流を深めました。



6 / 1 下田市消防団 水防訓練を実施

多々戸浜海岸にて下田市消防団（第 6 分団）が水防訓練を実施しました。これから本格化する梅雨や台風シーズンを前に、訓練指導員から土のうの作成方法や積み方の指導を受け、約 200 個を作成しました。



6/15 第 3 回黒船アクアスロン大会開催

まどが浜海遊公園にて、黒船アクアスロン大会を開催しました。アクアスロンの部（スイムとラン）、マラソンの部に分かれ、小学生～大人まで多くの方に参加いただきました。



6/20 下田市監査委員選任辞令交付式

6 月 20 日付けで議員選出の監査委員として、江田邦明議員が就任しました。監査委員として、市の財務や経営及び行政運営にかかる事業が合理的かつ効率的に執行されているかを監査します。

6 月の できごと

1～2日 市内小学校運動会
1日 第 54 回伊豆下田温泉あじさい祭
オープニングセレモニー
土砂災害・全国防災訓練
4日 事業承継セミナー

11 日 公益社団法人日本サーフィン連盟 表敬訪問
日本国際交流発展促進協会 表敬訪問
28 日 第 3 回中学・高校サーフィン大会
（下田チャレンジカップ）
防災講演会「みんなで知る・学ぶ防災講座」

地域子育て支援センター通信

問合せ先：地域子育て支援センター ☎272200



8月の予定

1 日(金) リトルママの会 13:15～15:00
2 日(土) 開館日
6 日(水) リトルママの会 13:15～15:00
8 日(金) わくわくタイム
16 日(土) 開館日
22 日(金) 誕生会 10:30～
25 日(月) 発育測定・育児相談 9:00～11:00
保健師・栄養士来所
29 日(金) プール遊び終了

※予定は変更になることもあります。
詳細は子育て支援センターまでお問い合わせください。

水遊びのお知らせ



・水遊び期間 7 月 15 日（火）～8 月 29 日（金）
・持ち物 タオル・着替え・水遊び用パンツ
※天候や行事等により実施しない日もあります。



誕 生 会



図書館絵本の貸し出し

暑さも日々増していき、本格的な夏もすぐそこまで来ているようです。室内でもこまめに水分補給を心がけ、戸外では、帽子などで直射日光から身を守るようにしましょう。

子育て支援センターでは、水遊びやプール遊びで夏を楽しんでいきたいと思います。休息、睡眠、そして夏バテしない食事に心がけ、元気に過ごしたいですね。どうぞ、支援センターに遊びに来てくださいね。



お で か け 広 場



体 操 教 室

こんにちは、市長です 「俯瞰」を考える



俯瞰。高所大所から全体像を眺めることの大切さを再認識する映画を見た。話題を集めた「カメラを止めるな」だ。
物語は、ホラー映画の撮影シーンから始まる。廃墟でゾンビ役の俳優と彼から逃げるヒロインが撮影の合い間に雑談しているとそこに本物のゾンビが現われ、助監督やカメラマン等スタッフも続々とゾンビ化していき、彼らを斧で殺しつつ逃げるヒロインが血だらけで生き残ってエンドロールと、ここまで約 30 分。これだけでも相当恐ろしいホラー映画だと思ったが、実はこの映画の面白さはその後にある。
エンドロールが終わると、シーンが切り替わり、一ヶ月前にさかのぼって、映画づくりの現場になる。俳優、監督、メイクその他のスタッフ達が撮影の準備をし、そして撮影を始める様子などが映し出される。斧で切りつけて首が飛ぶシーンとか血潮を浴びるシーンとか。へえ、こうやって作るんだ、と私たち素人は面白い。ホラー

映画を作っているうちに次々にスタッフ達が殺されていくという映画を作っている人たちを描いているので、つまり二重のメイキング映画なのだが、作り手達の懸命な姿は、私たち観る者の心を打つし、特にラストシーンは清々しい程感動的だ。そして、最後の、本当のエンドロールの映像で私達はまた驚かされる。
これらのメイキングシーンに映るのも実は、役を演じる俳優がほとんどであって、彼らを支えるもっと多くの人達がいたことに気づくからだ。そうなのだ。この映画はなんと三重のメイキング映画だったのだ。
さて、ひるがえって見ると、私たちは、多くの人々と関わりを持ちながら生活している。しかし、実はその背後にはきつとたくさんの見知らぬ人々の様々な苦勞や涙があるのだ。
映画のように画面を通して見ることはできないが、ときには俯瞰で眺めることで、色々な人やコトに思いを致すよう努めたいと思ったのでした。